

1. 沿革 (抜粋)

昭和 40 年	9 月	社会福祉法人肢体不自由児施設第二石川整肢学園開設
昭和 50 年	4 月	同学園内に、小松市立波佐谷小学校・同瀬谷中学校施設内特殊学級開設
昭和 51 年	4 月	石川県立小松瀬領養護学校開校 施設内特殊学級を閉鎖し児童生徒は石川県立小松瀬領養護学校へ転入 小・中学部設置 児童生徒数 75 名
昭和 52 年	4 月	初代校長橋光弘着任
昭和 53 年	4 月	第二石川整肢学園内に「せせらぎ学級」を開設 本校中学部卒業生 36 名
昭和 55 年	4 月	に対し、施設訪問指導を行い、養護学校高等部に準じた教育を実施
昭和 56 年	8 月	高等部設置 高等部仮設教育棟完成 管理棟 68.26 m ² 増設
昭和 57 年	1 月	橋光弘校長転出 第 2 代校長山岸文衛着任
昭和 58 年	4 月	山岸文衛校長退職 第 3 代校長岩木幹夫着任
昭和 59 年	1 月	校舎建設起工式を挙行
昭和 60 年	3 月	新校舎落成式を挙行
昭和 61 年	4 月	岩木幹夫校長転出 第 4 代校長久保重義着任
昭和 63 年	8 月	久保重義校長退職 第 5 代校長福井光澄着任
平成 3 年	4 月	福井光澄校長死去 9 月 第 6 代校長南川寿夫着任
平成 5 年	4 月	南川寿夫校長退職 第 7 代校長中川寛二着任
平成 6 年	1 月	中川寛二校長退職 第 8 代校長福島繁着任
平成 6 年	3 月	通学生の受け入れ開始
平成 6 年	10 月	創立 20 周年記念式典を挙行 校歌碑建立
平成 7 年	4 月	学校給食を開始
平成 8 年	4 月	福島繁校長退職 第 9 代校長河崎勉着任
平成 9 年	4 月	河崎勉校長転出 第 10 代校長西孝治着任
平成 10 年	4 月	西孝治校長退職 第 11 代校長押田弘光着任
平成 11 年	2 月	建具・ガラス改修工事（紫外線カット工事）完了
平成 12 年	3 月	屋外防水改修工事（管理棟）完成
平成 13 年	4 月	押田弘光校長退職 第 12 代校長橋本護着任
平成 15 年	8 月	スクールバス運行開始
平成 15 年	4 月	1 階生徒トイレ改修工事完了
平成 16 年	4 月	橋本護校長退職 第 13 代校長斎藤誠浩着任
平成 16 年	10 月	「養護学校における医療的ケアサポート実践研究」指定校（15・16 年）（県）
平成 17 年	4 月	非常勤看護師 1 名配置
平成 18 年	3 月	創立 30 周年記念式典を挙行
平成 18 年	4 月	斎藤誠浩校長退職 第 14 代校長伊林永幸着任
平成 19 年	4 月	「盲・ろう・養護学校における医療的ケア実施体制整備事業」指定校（県）
平成 20 年	4 月	正面玄関にキャノピー設置
平成 22 年	4 月	「特別支援教育体制推進事業推進校」指定校（文部科学省）
平成 24 年	4 月	臨時の任用講師（看護師） 1 名配置
平成 26 年	4 月	伊林永幸校長転出 第 15 代校長楠景二着任
平成 26 年	10 月	楠景二校長転出 第 16 代校長坂田哲之着任
平成 27 年	4 月	石川県立小松瀬領特別支援学校と校名変更
平成 28 年	4 月	坂田哲之校長転出 第 17 代校長中泉俊一着任
平成 28 年	10 月	中泉俊一校長退職 第 18 代校長中川雄一着任
平成 29 年	4 月	中川雄一校長転出 第 19 代校長木越明子着任
平成 30 年	4 月	創立 40 周年記念式典を挙行
平成 31 年	4 月	木越明子校長転出 第 20 代校長藤田耕造着任
令和 3 年	4 月	藤田耕造校長転出 第 21 代校長西啓子着任
平成 30 年	4 月	大規模改修工事（管理棟・教室棟）完了
平成 31 年	4 月	西啓子校長退職 第 22 代校長小山田真由美着任
令和 3 年	4 月	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業（文部科学省）
		小山田真由美校長退職 第 23 代校長荒島康敬着任

2. 教育目標

- ・児童生徒一人一人の障害の種類や程度、心身の発達及び個に応じた教育を進める。
- ・児童生徒の主体性を育み、それぞれの能力や可能性の伸長に取り組む。
- ・自立を促し、共生社会の一員として健康で心豊かに生きる人間を育成する。

3. 校訓

自立　自分のできることは自分でしようとする生活態度を身につけ、豊かに生きる。
明る　まわりの人たちと和やかに、明るく、希望を持って生きる。
克服　身体の不自由に負けず、感謝の心を大切にし、たくましく生きる。

4. 今年度の重点目標

- (1) 授業実践力の向上（根拠のある学校研究、専門的知見を活かした自立活動、I C T の推進）
- (2) 安全・安心、生き活きした学校づくり（危機管理、業務の協働と効率化、地域への発信）